

令和 2 年度 学科 AO 入試 総合考査 問題用紙【整復医療学科】

試験時間：60分

.....
表 1、2 は、独立行政法人日本スポーツ振興センターが公開している中学校および高等学校での、クラブ活動における負傷発生状況の抜粋である(平成 29 年度データ)。このデータについて以下の質問に答えなさい。

問 1. 表 1、表 2 の負傷の総件数についてそれぞれ算出なさい。
(総件数の下 2 桁は切り捨て「00」とする)

問 2. 中学校と高等学校での負傷について、負傷別に見るとどのような傾向の相違があるか答えなさい。

問 3. 骨折と脱臼の発生件数について、高等学校での発生を中学校での発生と比較した場合、骨折は減少傾向が、脱臼は増加傾向が見られる。この傾向について考えられる理由を、図 1 を参考に答えなさい。

問 4. 中学校、高等学校の部活動では年間多くの負傷が発生している。これらの負傷を減らすためにはどのような取り組みが考えられるか。あなたの意見を述べなさい。

表1 主な部活動による負傷状況（中学校）

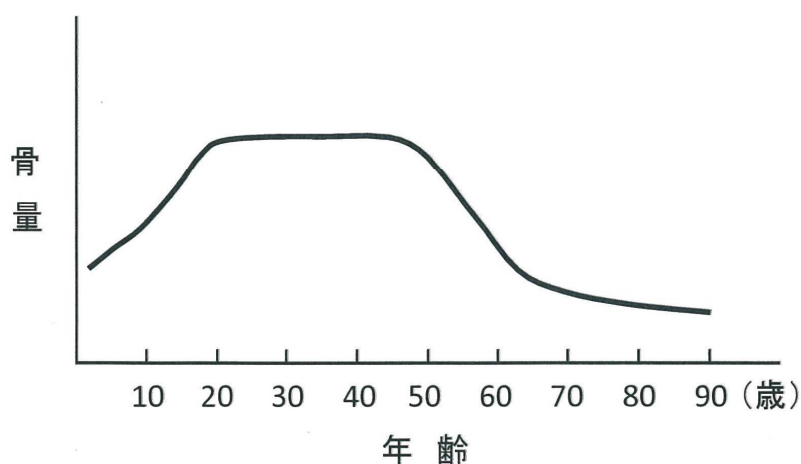
	骨折	捻挫	脱臼	挫傷・打撲	部活別合計
陸上競技部	2,996	3,081	100	3,542	9,719
サッカー・フットサル部	12,099	5,028	347	6,996	24,470
テニス部（含ソフトテニス）	2,202	2,853	194	5,540	10,789
野球部（含軟式）	4,874	2,401	250	6,188	13,713
バレーボール部	5,511	8,043	565	3,883	18,002
バスケットボール部	14,972	13,324	1,338	7,960	37,594
ラグビー部	698	260	77	412	1,447
卓球部	724	799	59	1,307	2,889
柔道部	2,000	1,219	177	1,174	4,570
剣道部	1,143	712	46	1,384	3,285
負傷別合計	47,219	37,720	3,153	38,386	

表2 主な部活動による負傷状況（高等学校）

	骨折	捻挫	脱臼	挫傷・打撲	部活別合計
陸上競技部	1,441	1,736	81	2,187	5,445
サッカー・フットサル部	8,964	6,362	800	7,749	23,875
テニス部（含ソフトテニス）	766	1,832	99	2,026	4,723
野球部（含軟式）	6,422	2,546	795	7,684	17,447
バレーボール部	2,752	4,706	536	2,275	10,269
バスケットボール部	6,269	7,556	1,065	4,960	19,850
ラグビー部	2,364	1,504	702	2,278	6,848
卓球部	160	285	28	331	804
柔道部	861	1,134	326	1,089	3,410
剣道部	448	450	29	742	1,669
負傷別合計	30,447	28,111	4,461	31,321	

出典：学校の管理下の災害【平成30年版】（平成29年度データ）
 独立行政法人 日本スポーツ振興センター

図1 骨量の経年的変化



文献元：鈴木隆雄. 骨量の自然史と骨粗鬆症, 骨折の予防戦略. 日臨床 2004; 62 (増2) : 225-32
 より引用改変